

# 教育数学

-- ガイダンス --

数学科 栗野 俊一 (TA: 輪島 [院生 1 年])

2014/04/11 教育数

# 伝言

---

## 私語は慎むように !!

- 色々なお知らせについて
  - 栗野の Web Page に注意する事
  - <http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino>
- 廊下側の一列は遅刻者専用です(早く来た人は座らない)
- 講義開始前に済ませておく事
  - 演習資料が前にあるので、自分の分を取って置いてください
  - 今日の資料に目を通しておく事
- 講義前の注意
  - 講義前は、栗野は準備で忙しいので TA を捕まえてください
- やる気のある方へ
  - 今日の資料は、すでに上っています
  - ▷ どんどん、先に進んでかまいません

# お知らせ

---

## □ 本日の予定

- 「教育数学」ガイダンス
- 講議の方針と成績
- 講議中の諸注意
  - ▷ 私語の扱い / 質問の扱い / 遅刻について

## □ 本日の目標

- 講議の進行方針を把握する
- 演習
  - ▷ 課題の提出

# 講義の方針と成績

---

## □ 講義の方針

○ 基本はコンピュータ概論・ソフトウェア概論と同じって事

▶ 復習と、昨年コンピュータ概論を受けていない人のために..

○ 内容：講義 + 発表 + 演習 + 小テスト

▶ 毎回演習を行う / 単元毎に小テストを行う

○ 資料：原則 On-Line

▶ 栗野の Web Page : <http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino>

▶ 当日の朝公開：後日(講義中?) 修正されることもある

▶ 演習問題/小テスト問題は毎回プリントして配付する

○ 毎回提出課題が出る

▶ 課題の提出期限は、課題が提示された講義の終了時

○ 単元毎に小テストを行います

▶ 単元単位に評価を行い、全て合格しないと、単位は出しません

# 評価

---

- 評価：課題，小テスト，試験，講義中の態度，発表
  - 課題は全て提出が原則
    - ▶ 課題毎の期限はあるが、最終期限(試験の当日の朝)までには何時でも受け取る
  - 小テストは、全て合格 (60 点以上で合格) する必要がある
    - ▶ 希望すれば、過去の単元の小テストを受ける事もできる
    - ▶ 得点は、受けたテストの最大の値が利用される
  - 試験は、最後の講義の時間に行う
    - ▶ 持ち込みはなんでも「可」
  - 発表は、\*加点\* 対象
    - ▶ 発表零でも単位は取れる
    - ▶ S を狙うならば、発表は必須

# 本日の課題 (2014/04/11)

---

- 先週の課題
  - 初日なのでなし
- 今週 (2014/04/11) の小テスト
  - 小テストを解いて提出する

# 講義中のルールなど

---

## □ 相談 (演習中)

- 大いにやろう / 互いに教えあおう
- 得意そうな人と友達になれ
  - ▶ 教えると、より学習が進む
- インターネットを活用しよう
  - ▶ ポータルなどで、情報交換しよう
  - ▶ メールで質問もしよう

## □ [禁止]

- 講義中に話をする事 (演習中は可)
  - ▶ 私語厳禁 → 筆談, PC でチャット/ツイートしてください

# 私語について

---

## □ 講義中の私語は厳禁

- 教室内を騒がしくして他人の邪魔するのは止めてください
  - ▶ 貴方には詰まらなくても、他人は興味をもっているかもしれません
- 他の学生の学習を妨害しようとする行為は厳罰します
  - ▶ 講義中に騒ぐ学生は教室の外に追い出します
  - ▶ 「望ましくない態度」としてカウントします

## □ 内容が詰まらなかつたら..

- どうぞ、ボイコットしてください (教室を出ましょう)
  - ▶ あとで、抗議のメールを出すと良いでしょう
  - ▶ 掲示板で批判するのも適切な手段です
- 出席は取りません
  - ▶ しかし、課題は毎回でますし、小テストで合格しないと単位はとれません

## □ 受講者間での情報交換

- ネットワーク経由で行いましょう
  - ▶ メール / チャット / 掲示板

# 口答での質問について

---

## □ 質問をすることは基本的に良いことです

○ 「質問」とは「聞きそびれた事を尋ねる事」ではありません

▶ 公開している資料に書かれている内容は自分で読んで確認してください

○ 「質問」とは、次のような形をしたものです

▶ 「話を聞いていて～までは判ったのだが、～の部分が理解できません」

▶ 「～に関する内容は、～にある事は判ったが、その中の～の意味が解りません」

▶ 「～の資料にあるように～の操作をしたのに、～のようにならないでますが」

○ 「全然わかんないから教えて」は、質問とは認めません

▶ 「聴いていませんでした」「見ていませんでした」も基本的に対応しません

▶ この手の「発言」は、「講議の邪魔」と解釈します

▶ 「ちゃんと質問したい人」の時間を奪っていますので

## □ 疑問の提示は口頭でなく、ネットワークを利用しましょう

○ 知りたい事(質問を含む)はできるだけ掲示板で

▶ 情報を共有するように努力しましょう (講議への不満も重要な情報!!)

▶ 私的な内容を含む場合は、メールを利用しましょう

# 「望ましくない態度」

---

## □「望ましくない態度」とは？

- 教室で、他の学生の学習を阻害する行為

  - ▶ 講義中に 私語をする / 騒ぐ / 音を鳴らす / etc..

- 自分が聴かなかった事を質問する

  - ▶ 「自分 \*だけ\* がよければ良い」という態度

  - ▶ 「質問をする権利」には「自分でできる事は済ませておくという義務」が伴う

## □以下は、「望ましくない態度」とカウントしません

- 欠席 / 居眠り / 生理現象への対応

  - ▶ ボイコットなどによる途中退出を含む (当然の権利)

- 抗議のメール / 掲示板などでの講義内容に関する批判

- 講義と無関係な Web 参照 / チャット

## □「望ましい態度」とは？

- 講義の発言内容に関する 3 秒以内の質問

  - ▶ 聴いて変だと思ったら、その時点で発言しよう (手を挙げるのがベター)

- 資料に関する、誤りや、不明な点の指摘

# 遅刻者の悲劇

---

## □ 遅刻の何が悪いか

- 遅刻した本人が被害を被るのは、本人の問題
- 問題は、遅刻者が被害を減らすために、他人に迷惑をかけること

## □ 遅刻者の罪

- 講義中に入ってきて、わざわざ真中に来る
  - ▶ 後から静かに入って、他の人の邪魔にならないように遅刻者専用の廊下側の一行に座る
- 友達と挨拶をしようとする
  - ▶ 既に講義は始まっている、他の人の邪魔をするな
- 友達に状況を確認しようとする
  - ▶ 不安は解るが、今の内容を聞け/不足は講義終了後にしろ
- 重要なアナウンスをききおとす
  - ▶ 講義の最初に重要なアナウンスがある事が多い/後で確認しろ

## □ 遅刻はしょうがない

- 遅刻者として自覚をもってふるまわない事が罪

# 講議の目標

---

## □ 講議の目標

### ○ 教員採用試験の準備

▶ 少なくとも、過去の教員採用試験の問題が解けるようにする

### ○ 問題解説の仕方等も憶える

▶ 「問題を解く」考え方も身に付けて欲しい

## □ 講議の内容

### ○ 教員採用試験問題の解説

▶ 発表者の内容へのコメント

### ○ 教員採用試験問題の類題を演習問題として解く

## □ 講議の方針

### ○ 基本は過去問をひたすら解く

▶ 成績も過去問の解いた結果で判断

# 発表

---

## □「発表」とは

- 課題の問題の解答を黒板に記載し、その口頭解説をする事

## □「発表」の対象

- 当日の課題の中の問題

## □「発表」の権利

- 課題の個々の問題に対して、最初に前に出て権利を主張した人
  - ▶課題番号は、最初に黒板に記載しておく
  - ▶速い者勝ち
  - ▶同じ人が複数の課題を解くのも可

## □「発表」の評価

- S,A,D の三種類 ( 発表が終った時点で、その場で付ける )
  - ▶S : 優秀と判断 ( 更に加点する材料 / 減多に出さない / \*栗野の主観\* )
  - ▶A : 普通 ( 正解であれば無条件 / 加点の対象 / ほとんどは、これ )
  - ▶D : 不合格 ( 誤っている / 加点しない / 減点もしない / 無駄骨 )
- 「加点」項目であり、発表零でも単位取得可能

# 課題/小テスト/試験

---

## □ 共通

- 問題の内容は、参考資料の問題そのまま、あるいは類題として作成
  - ▶ 範囲は、単元毎 (試験のみ全範囲)
  - ▶ 参考資料以外からも出す可能性あり
- 全て、単位認定・評価に関係する

## □ 課題

- 教員採用試験問題の類題プリントを毎回配付する
  - ▶ 次回の講義終了時まで提出 / 当日の発表問題 / 全員同じ問題
- 単位取得条件：課題は、全て提出する必要がある
  - ▶ 期限外も受け付ける

## □ 小テスト

- 基本は単元毎に行う(範囲も単元内)
  - ▶ 講義終了時に提出 / 人によって異なる問題である可能性がある
- 単位取得条件：小テストは、全て合格(60% 以上)である必要がある
  - ▶ 同じ単元の小テストを何度でも受けられる

## □ 試験

- 講義最終日に行う / 人によって問題が異なる可能性がある / 範囲は、全て
- 単位取得条件：合格点 (60% 以上) を取る必要がある

# その他

---

## □ 準備するもの

- A4 バインダー (A4 コピーを綴じる) を用意しよう

- ▶ 配付資料は全て A4 となる

- ▶ 試験も「持込可」である事に注意 (バイダー ...)

## □ 板書 / ノートなど

- デジカメ利用可 / 発表の内容は、デジカメで保存して Web にのせます

## □ コンピュータ

- もちろん、持込可(推奨)だが...

- ▶ Mathematica を使ってもよいが... (教員試験の時は駄目だよ..)

- ▶ 電源や LAN はサービスされないかも (教室の問題)